

第 55 回 平常心（新春学長メール Vol. 1）

新年あけましておめでとうございます。

長崎大学人 河野茂です。

激動の 2021 年が終わり、2022 年が始まりました。

2022 年も大きく揺れ動く世の中が予想されますが、私は、<平常心>を保ちながら進んでゆきたいと思います。

平常心は、（へいじょうしん）ではなく、（びょうどうしん）（びょうじょうしん）等といういくつかの読み方があります。中国の唐の時代の禅僧の言葉<平常心是道>にもいくつかの読み方があり解釈もいろいろあります。

私は<平常心是道>（びょうどうしんこれどう）と読み、『普段通りの心こそが道である』という解釈が好きです。

本日も新年早々、小笠原で震度 5 強の地震が起きたばかりですが、今年も、台風、地震、猛暑等の気候変動による環境変化が、我々を脅かすかもしれません。

さらに、新しい変異株の新型コロナウイルスが、我々に激しい変化を求めるかもしれません。その度に、気持ちが浮いたり沈んだり、泣いたり笑ったり…。予想もせぬ出来事に翻弄される年になるかもしれません。だからこそ、気持ちを落ち着かせ、あるがままの心で日々を過ごしたいと私は思っています。そのひとつの方法として、私には、書道があります。

実は、小学生の頃、毎週日曜日に、書道教室に通わされていました。

理由は、<自分は字が上手でないので、せめて子供にだけは上手な字を書いて欲しい>という、よくありがちな母の子に対する願望のためでしたが、私は嫌でたまりませんでした。わんぱく坊主だった私は、外で遊ぶことが好きでしたので、書道にまったく魅力を感じず、正直、全然うまくありませんでした。

その後、書道のことは、まったく忘れていました。

50 才を過ぎた頃、医学部長になったころでしょうか、「何か書いてください」と、言われることが多くなり、人様に差し上げるならば、もう一度、書道をはじめようかとふと思い、知り合いに書道家の先生を紹介して頂き、50 の手習いというような感じで始めました。はまりました(笑)。いつの間にか熱中してしまい、それからほぼ毎日練習を続けています。

新年には、よく孫と書初めをしました。

孫が小学校の宿題で、「一」「大」などの文字を、顔に墨をつけながら書く姿は、爺としては嬉しいものでした。少し学年があがると「新年」「平和」「希望」等の文字が書かれ、単純な文字の深い意味を毎年心に刻んでいました。

今年も、いくつかの書を新年に書きあげました。

墨を硯で磨り、心を落ち着けて、ゆっくりと書きあげました。

「平常心是道」

まずまず、うまく書けたと思います。

今回の学長発信メールは、数回にわたり、書道を通した私の様々な経験を皆さんに届けながら、今年の抱負を述べたいと思います。また、昨年末から話題になっているオミクロン株についての最新情報などをお届けします。

さて、みなさんは、このお正月は、どう過ごされたのでしょうか？ 久しぶりに家族と再会された人も多いでしょう。どんな新年の抱負を立てたのでしょうか？ ウイズコロナ時代のユニークな抱負があるかもしれませんね。ぜひ、お聞かせください。また、趣味の話などもお聞かせください。多くの皆さんの前向きなメールを待っています。

私に、お気軽にメールください。

それでは、平常心で、今年も頑張りましょう。